

2020年11月

縁が和 だより

発行:縁が和

広島市安佐北区亀山南二丁目3番27号

TEL:082-819-1750 fax:082-819-1751

MAIL: syouta@engawa-cc.com

ぱんぱかぱ〜ん

2つの嬉しいに報告で〜す

縁が和ひろば整備事業が広島市 元気なまちづくりプロジェクト地域 活動支援事業に採択されました!!

縁が和の井戸水が名水鑑定で 「まれにみる軟水の名水」と 認定されました!!

採択された事業名は、「地域活性化、多世代共生の拠点
〜縁が和広場整備事業」です。

10月号でお伝えしていたように、新型コロナ禍で停滞して
いるまちづくりを力強く進めるための、広島市の補助事業に
応募していたのですが、10月29日、「採択通知書」が届きました。

この申請にあたって、まちづくりへのアイデアやご意見を
寄せて下さった地域の皆様、本当にありがとうございました。

この補助金を最大限活用して、縁が和広場がこれまでも
増して、地域の皆様に活用して頂けるよう整備を進めてまい
ります。その際には、またいろんなご協力、ご助言などをお
願いする事になると思いますが、よろしくお願い致します。

●●● 主な事業内容(申請書から抜粋) ●●●

1 多世代交流拠点としての新たな生活様式に則した賑わい、
魅力を創出する

- ・コロナ禍でも安心して訪れることができるように動線、
エリア分離を徹底し、高齢者含む多世代の活動拠点とす
る
- ・サイクルスタンドや屋外トイレ設置によるサイクリング
愛好家や登山客の休憩所としての機能整備
- ・手打ちそば体験等の井戸水を活用した取り組み
- ・介護が必要な高齢者も参加できるまちづくり活動

2 オープンエアでの地域活性化イベントを開催する

・JR可部線電化延伸や安佐市民病院移転を生かした地域
ならではのイベントを開催

・プチマルシェやミニコンサート等の地域内外、多世代が
楽しむ日常イベントを開催

3 非常時における助け合いの関係を確立する

・上記のような活動による日常のつながりから、助け合う
関係をつくる

・井戸水やイベント用テント等を活用し、災害対策の広場
とする

縁が和の井戸水を「名水鑑定」に出したところ、な
んと「まれにみる軟水の名水」との結果が出ました。
発端は、左記の補助事業申請にあたって地域の方
に集まって頂き縁が和広場活用策をテーマに開催
したワークショップでのアイデアです。災害時に縁
が和の井戸水を活用できないかという話の中で、
「普段からみんなが使える水場があるといいよね」
と言う話になったのです。そこから、飲料適合かの
検査と共に名水鑑定にも出すことに。結果は、予想
以上の評価でした。

この水が持つ可能性はとても大きいと思います。
カフェのコーヒーやそば打ちへの活用、地域の皆さ
んが身近で使える名水の水場、サイクリングやハイ
キングの休憩所などなど。

水場を手作りで作ろう、などの意見も出ています。
新しい地域の名所になりそうな予感…。





干し柿作り

ご近所で分けて頂いた柿で干し柿作り。柿取り、皮むき、つるす作業と大忙し。なかなか上出来です。



今年は秋の味覚の頂き物が沢山！松茸はなんと3回も登場しました。さつま芋、ぎんなん、ポポーなどなど。
ご寄付下さった皆様ありがとうございます。

秋 (主に味覚) 満喫!



栗拾い

縁が和にボランティアで着て下さる方が栗拾いに招待して下さいました。歩行器も放り投げて栗拾い。栗は渋皮煮や栗ご飯になりました。

10月の縁が和

焼きサンマ大会

塩ふり、火おこし頑張っていたいただきました外でお食事、

マスクのご寄付

明治安田生命可部営業部さんよりたくさんご寄付頂きました。有難うございます。



※「鹿の王」の魅力が全然伝わりませんがご勘弁を。

縁の道
数年前に「本屋大賞」と「医療小説大賞を受賞した「鹿の王」という小説があります。ウィルスを題材とした壮大な物語です。
著者の上橋菜穂子さんは、「破壊する創造者」という一冊の本から着想を得たそうです。その本によれば、人のDNAには、人が幾多のウィルスに感染した痕跡が残されており、それが人の進化に深く関わっている可能性が高いと言います。
現在、新型コロナウイルスに世界が恐れおののいていますが、「鹿の王」にもウィルスと人との葛藤が描かれています。上橋さんの心には何だかという人間性、幸せのかたちとは何だろうかという問いがあったそうです。
ターミナルケアとは、終末期のケアと括られますが、どう死ぬかではなく、最後までどうその人らしく生きるのか、という事であると考えます。
その点では、新型コロナウイルスが恐ろしいのは、病による死だけではなく、生活や人のつながりそのものが奪われている所にもあります。
人はいつか死ぬ。ウィルスとの葛藤と共生を模索しなければならぬ。と書くのは勇気がいります。